

## 今後の取組

### 1. 医療現場のニーズを踏まえた開発・事業化

- 医療現場のニーズを踏まえた医療機器の開発・事業化に当たっては、医療機器開発支援ネットワークの強化などを通じて、医療機器メーカー、部材メーカー、医療従事者、販売事業者間の連携が不可欠。

医療分野に加え、我が国が強みを持つ異業種（素材、光学・産業機械、電機電子、自動車部品等）が有する高度な技術等を積極的に取り入れ、リーダー人材・開発人材の育成と合わせて、開発・事業化を加速。

また、地方創生につなげるべく、伴走コンサルの地方開催の強化により、各地域の医療機器開発を活性化。

- 医療機器開発のイノベーションを創出し続けるため、基礎的な研究開発を強化。また、AMED を中心に医療機器に対する現場のニーズやシーズを研究開発につなげる取組を強化。
- 効率的な臨床開発を進めるため、疾患登録システム等の環境整備を進める。

### 2. 国内外の医療現場への販路開拓

- 国内外の医療現場への普及を加速すべく、調査やFS事業などを通じて、相手国・地域のニーズに合った性能や価格水準を踏まえ、医療従事者の研修トレーニング、メンテナンス体制の構築等と合わせて展開。